

梓川中学校だより

発行者

梓川中学校

Tel. 78-2024

「優しく ～他人への配慮～」

学校長 松本 隆

昨日から人権旬間がスタートしました。旬間のスタートにあたり、学校教育目標の「優しく」について考えてみたいと思います。

「優しく」で、まず考えたいことは、「他者（他人）の存在」です。私たちは一人で生きていけません。一人で生まれてくることもできないし、自分にできることにも限界があります。多くの感動を残した梓流祭はもちろん、これまでの日々において、他者（他人）と一緒に生活することで初めてできることがたくさんあったのではないかと思います。現在ここに自分があるのは、自分の周りにいる人のお陰様であるということを今一度思い出し、家族や友人など自分に関わっている人に対して、感謝の言葉「ありがとう」を伝えていってほしいと思います。自分にとってちょっとしたことでも「ありがとう」を伝えてみましょう。そのちょっとした、心をほっとさせる魔法の言葉となることがあります。

次に考えたいことは、「他者（他人）との関係の中で大切になること」です。大切になることは何でしょうか。2学期開始の校長講話で、「聞く・想像する・伝える・自分も周りの人も大切に助け合う」の4つについて触れましたが、この中に大切になることがあります。それは、「他人の立場から物事を見ることができること」、つまり「想像すること」です。

日常生活の場面において、自分にはよくても他人にはそうでないこと、かえって害になることもあるのではないかと思います。また、これとは逆に、自分にとっては少し辛いことでも、他人にとってはとてもありがたいこともあるように思います。「ありがとう」と重なるかもしれませんが、想像することで私たちに培われていくものが「他人への配慮」ということになります。

今月7日、ノーベル平和賞受賞者が発表され、ロシアのウクライナ侵攻に対する批判的な姿勢を貫いてきたウクライナの人権団体等に授与されることとなりました。さかのぼること43年前、この平和賞を受賞した方にマザー・テレサという人がいます。そのマザー・テレサが次のような言葉を残しています。

「愛の反対は憎しみではない 無関心だ。」

つまり無関心であること、苦しむ者に関わりを持たずに傍観者であることが、愛の対極にあるということです。人としての言動の全ては、どんな形でも関心を持つこと、関わりを持つことから始まります。

繰り返しになりますが、人との関わりの中では、自分の考えだけではうまくいかないことがあります。他人への配慮にかかわって、私自身ここに留めている詩を一つ紹介します。私が、教師として、人として上手くできない自分に対して問いかけるための詩ですので、みなさんにとっては感じ方が少し違うかと思いますが、聞いてください。

「聞いてください」

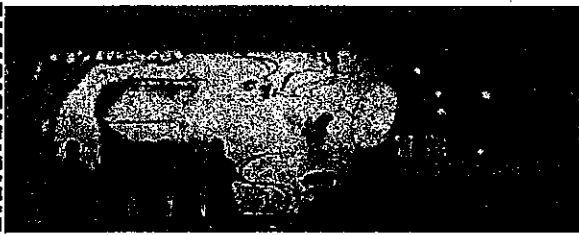
私の話を聞いてください と頼むと あなたは 助言を始めます 私は そんなことは望んではいないので
 私の話を聞いてください と頼むと あなたは その理由について話しを始めます
 申し訳ないと思いつつ 私は 不愉快になってしまいます
 あなたは なんとかして私の悩みを 解決しなければ という気になります
 おかしなことに それは私の気持ちに反するのです
 祈ることに 慰めを見出す人がいるのは そのためでしょうか 神は無言だからです
 助言したり 調整しようとはしません 神は 聞くだけ悩みの解消は自分にまかせてくれます
 だから あなたもどうか 黙って私の話を聞いてください
 話をしたかったら 私が話し終わるまで 少しだけ待ってください
 そうすれば 私は必ず あなたの話に耳を傾けます

「聞く・想像する・伝える・自分も周りの人も大切に助け合う」の4つは生徒のみなさんへの言葉であると同時に私自身への問いかけでもあります。

人権旬間が始まりました。この旬間中は、各学年で計画されている学習を窓口にして、「人権」について一人ひとり考える時間を大切に過ごしていきましょう。そして、「ありがとう」の実践と、関わりの中での「他人への配慮」について考えてみてください。

(10月校長講話より)

第70回 梓流祭「冒険 ～僕らの旅は終わらない～」



新型コロナウイルス感染再拡大が懸念される中、本年度も合唱コンクールを切り離す形で、9月30日(金)に開催された梓流祭。

例年2日間で行っていることを1日で行えるように生徒会役員を中心に計画を練り直し、念入りに準備が行われ当日を迎えました。

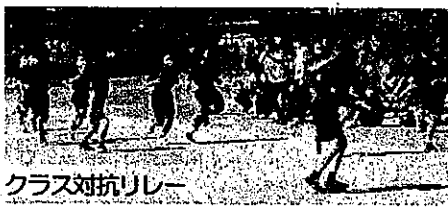
開閉祭式・各学年ステージ発表・運動会・吹奏楽部発表・生徒会企画、それぞれが内容を工夫し新たな取り組みを加味した内容で、生徒一人ひとりが、様々な場面で仲間と共に活動することで、自分や仲間の力を実感した梓流祭となりました。



2学年ステージ発表



運動会 クラス対抗リレー



総合的な学習の学びが紹介されたステージ発表は、充実した内容で学年毎に発表方法が工夫され、各学年の取り組みを、全校生徒が楽しんだり、真剣に考えたりする時間となりました。

運動会は、多種目玉入れリレー・大縄八の字跳び・クラス対抗リレーの3種目を行いました。全力で競技に取り組む仲間への声かけや他学年への声援がとびかい、クラスの絆や全校の一体感を強める機会となりました。

また、多くの保護者の方に参観いただいたことで、昨年以上に白熱した運動会となりました。



吹奏楽部発表



生徒会企画・全校制作



70周年を迎えた梓川中学校。梓流祭テーマの通り、これからも伝統を土台に、生徒会の新たな挑戦は続いていきます。

新たな挑戦

梓流祭の感動がさめやらぬ中、各学年次なるゴールをめざして活動がスタートしました。

3学年では、10月5日から生徒一人ひとりの進路実現のため、学力向上をめざし朝学習が始まりました。朝7時55分から8時5分までの10分間です。多くの生徒が登校すると同時に着席し、静まりかえった教室の中で各自で課題に黙々と取り組んでいます。



朝学習

2学年では、令和5年生徒会発足にむけて活動が進められており、10月13日には生徒会正副会長2学年内選挙が行われ、各候補2名ずつ計6名の候補者が決定し、本選挙に向けての活動がスタートしました。

1学年では、学力向上をめざし、「テスト前学習」や「すいすい水曜学習会」の放課後の時間に学習に取り組んでいます。

また、11月8日に予定されている合唱コンクールに向けて、各クラスごと朝・放課後の時間を使っての合唱練習が始まりました。

11月の主な予定

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 1日(火) 避難訓練 | 10日(木) 生徒会正副会長選挙 |
| 4日(金) 3年4科期末テスト
(保体、音・美・技・家) | 12日(土) 13日(日) 中信新人戦;卓球 |
| 5日(土) 中信新人戦;バレーボール・バスケボール | 15日(火) 3年総合.; 5科(社・理・英・国・数) |
| 8日(火) 合唱コンクール | 16日(水) PTA 評議員会 |
| 70周年講演会・学年学級懇談会 | 21日(月) 1. 2年期末テスト |